

聲明

陸軍大將 田中國重

我帝國は今や内外憂患の一大國難に直面し其危きこと死然累卵の如し。吾人は此曠古の危難難局を直視し、國を憂ふる歌々たる一片の丹心抑々難く、茲に驟然として奮起し警鐘を鳴らして同胞の覺醒と奮起を促さんとす。

即ち内にあつては彼の既成政黨は、其黨派の何たるを問はず眼中政黨あつて國家なく、徒に政權爭奪に没頭して、黨利黨略の獲得、擴張に腐心し、國策の樹立、遂行及國民利福の寄與増進に關しては何等の抱負懸念なきのみならず、殆んど無關心無理解の態度を表するを常とせり。故に國家萬般の禍根惡弊は其萌芽を茲に發し、或は國家の殊遇を辱ふする開員にして、政商と結托して利權交換の條件の下に收賄行為を敢てし纏繞の辱を受くる者あり。

或は神聖なる勳章を好餌として私腹を肥さんとする破廉恥漢あり。或は公然減價反對の運動をなして官紀を紊亂し、其體面を毀損して顧みざる官吏の朋黨あり。

或は國政に參與する議員の選舉を汚白の争と化し、政界腐敗の要因を醸成して恥づる所なき常習犯あり、或は政客と氣脈を通じて、巧に金貨流出の機に投じて巨億の暴利を獲得し、或は自己の財政的立場より國家の利害を無視し國民の總意を度外視して、國際聯盟退反對の爲め暗中飛躍をなしてある貪婪なる財閥あり。其他外國の赤化團體の走狗となりて我神聖なる國體を呪詛する惡逆なる分子及團體は國內到る所に潜在し、其毒牙を磨いで乘すべき機会を伺ふあり。又其甚しきに至つては國憲國法の擁護者たる司法にして赤化思想を抱懐する性逆の徒あり。殊に最近輩の下に頻發する市吏員の唾棄すべき收賄疑獄の如き、算へ來れば文明國民たるの體面を毀損するの甚しきものにして、之を俯敗せる政界及び思想界の年中行事の第一として一笑に附するは餘りに事重大にして、今に於て政界の徹底的淨化と文教の根本的刷新を斷行するにあらざれば、遂に國家滅亡の端は茲に發するに至らむ事を深く憂慮するものなり。

我財界の現況は今や全く混沌状態を呈し、國家の歳入は甚しく均衡を失して歳入の不足は逐年増加し、前古未聞の老六豫算たる昭和八年度豫算は歳入の赤字十億圓に垂んとし、而も之を補填するに

全部公債を以てせんとするに至つては、吾人は我大藏當局の無能無責任なるに一瞥を與せざるを得ざるなり。況んや豫算審議の重大責任を有する五百の議員中、一人として其非を鳴らして政府に内薄したる者なくして、此老六豫算を其儘維持するに至つては、彼等は自ら其附與せられたる責重なる豫算審議權を放棄したるものにして、議員として國民を代表するの資格なく、世に議會無用論の益々喧傳せらるゝに至れるは實に痛嘆に堪へざる所なり。

昭和八年度豫算歳入赤字中、眞に緊急已むを得ざるものにして、萬難を排して協賛せざるべからずと認めらるゝは、滿洲事件及之に關連する陸海軍の兵器充實費の約四億圓にして、殘餘の五億圓は非常時局に處するの雅量に乏しき各省大臣の傳統的分捕主義の性根に過ぎずして、農村救済費以外の經費は當然削減を加ふべきものなるに、大藏當局を始め議會が其其國に出でざりしは政黨政治の腐敗せる惡弊にして、吾人は天下に向つて其非違を呼號せんとするものなり。

斯の如くして一旦曙光を認め得たる我財界の前途は忽然として暗雲低迷の霧を呈して、良心の不安と動搖を激し國民生活の安定を欲き、國內到る處悲鳴怨嗟の聲を聞かざる所なしとす。

現今の我財界の窮狀を救済せむと欲は歳入出の均衡を計るを先決問題とす。之が爲めには徹底的に行政及稅制の整理を斷行するにありとす。

由來我邦の官制は歴代内閣が人の爲めに官を設ぐるの惡弊を踏襲し來りたる結果、諸官廳は中央地方の別なく必要以上に膨大し、必然整理の餘地あるに拘らず之に大斧鉞を加ふるの勇氣に乏し、之のみならず、却て諸種の口實を構へ不急の官制を制定して、黨人の黨費を充たさんとするに至つては其弊狀實に驚くの外なしと力加。昭和八年度政府豫算に依れば、政府が地方廳及民間の各種事業に對し年々附與するある補助金は總額三億三千萬圓、又各種事業繼續費は總額五億二千萬圓にして、此巨額の國費は政黨政治家が財閥と利權の交換を條件とせり或は選舉區民の歡心を迎ふんが爲め的好餌として悪用濫費せられ、又帝都の中央に構へて發ゆる世界無双を以て彼等の誇りとする國富民力に不相應なる新議院並諸官廳等の豪華なる大層高閣の建築等、非常時局に於ては全不意の土木工事業に充當浪費せらるるものにして、昔時織田豊臣及徳川等が其居城の構築に莫大の國帑と人力とを投じ、國民を塗炭の苦しみ陥れ其怨みを買ひたるを何等堪む所なし。斯る政府の放縱なる國費の濫用を看過するに於ては、政府及地方自治團體の專横暴態は益々甚りて帝制政體を本根にして國民は塗炭の苦しみ現るゝこと能はざるは實に晴易きの理なり。然り而して政黨政治家の權勢なる國家の浮沈安危に關する國防を目して不生産的施設と稱し、國庫の窮乏を軍費の削減に依るる補填すべきとするの惡弊なる政策を弄じ、政治的野心を有する我陸軍の巨頭と氣脈を通じて日露戰役以來、